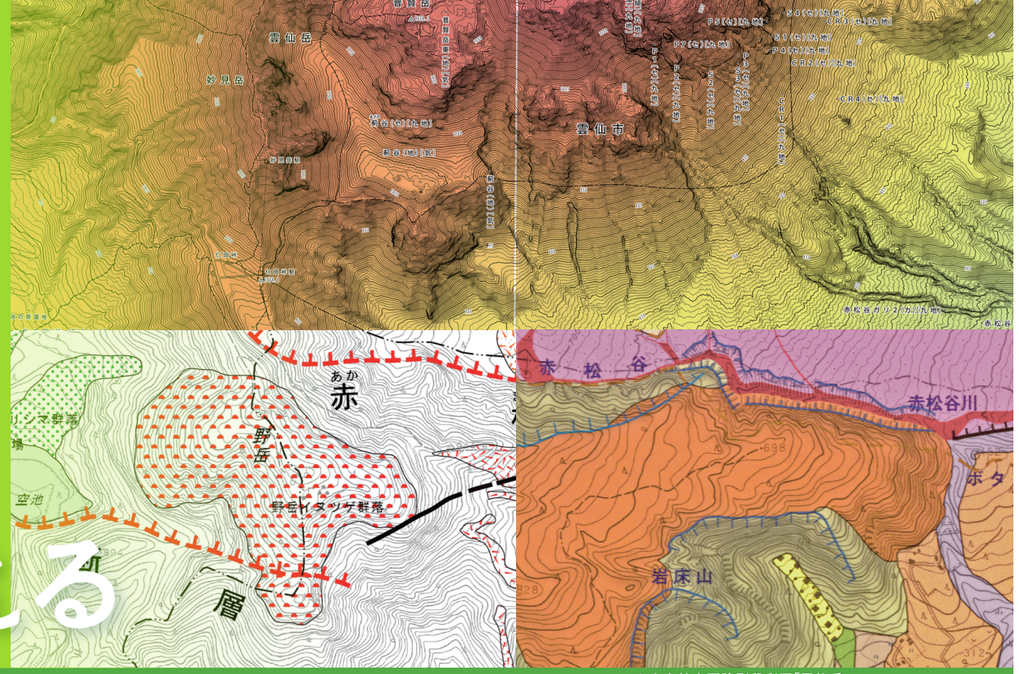
Convey

伝える

国土の姿を伝える



▲火山基本図陰影段彩図「雲仙岳」
1:25,000 活断層図「雲仙」　火山土地条件図「雲仙岳」

土地の特性を明らかにし、多様な地理空間情報を提供します

地形と自然災害には密接な関係があります。その関係を読み解き、用途に応じて地図に表現することで「防災地理情報」は作られます。また、防災地理情報に限らず、暮らしを取り巻く位置に関連する情報は「地理空間情報」と呼ばれています。歴史的資料から最新の地図まで、地理空間情報を簡単に検索・閲覧・入手できる環境を提供しています。



column

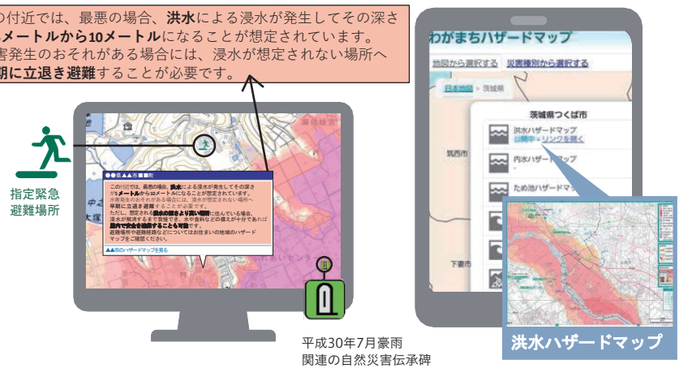
身の回りの災害リスクを知る

（ハザードマップポータルサイト）

ハザードマップポータルサイトでは、自然災害の危険性や避難場所についての情報を公開しています。防災に役立つ様々なコンテンツを重ね合わせたり、全国の市町村が作成する最新のハザードマップを閲覧することができます。

また、想定される災害リスクや災害時にとるべき行動がマップだけではなく文字で表示される機能(音声読み上げソフトにも対応)もあります。

見慣れた風景の中にも災害リスクは潜んでいます。ハザードマップを確認し、避難経路を検討しましょう。



平成30年7月豪雨
関連の自然災害伝承碑

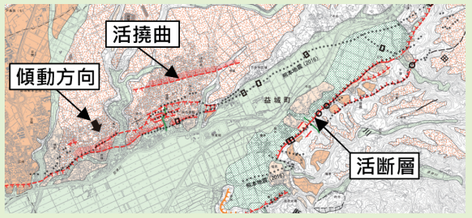
コンテンツの重ね合わせ　　ハザードマップ閲覧

防災地理情報

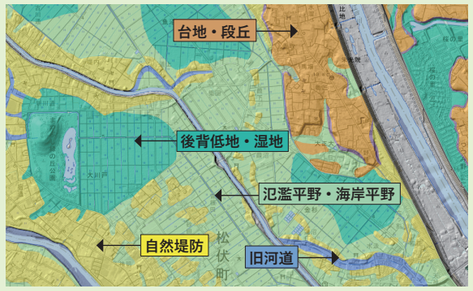
土地の成り立ちや土地の利用等に関する**地形特性情報**と、災害伝承に関する**災害履歴情報**からなる**防災地理情報**の整備・発信、それを用いた教育支援に取り組んでいます。これらを推進することで、国民の防災意識向上に貢献します。

地形特性情報

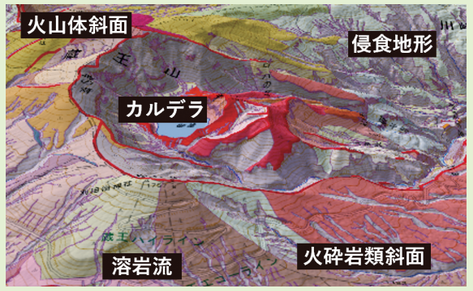
地形特性情報の代表的なものとして、土地の持つ自然災害リスクを可視化する「**地形分類**」、過去の火山活動やその後の侵食・堆積作用によって形成された地形の分布を示す「**火山土地条件図**」、活断層の位置等をまとめた「**活断層図**」があります。地形分類に示す「後背低地・湿地」は他の地形に比べ土地が低く、浸水の影響を受けやすいことが知られています。このように可視化された土地の特性は、防災計画や地域開発計画等の基礎情報として活用されています。



1:25,000活断層図



地形分類（ベクトルタイル）



火山土地条件図

災害履歴情報（自然災害伝承碑  ）

災害履歴情報として公開している「**自然災害伝承碑**」は、過去に発生した自然災害の様相や被害の状況等が記載されている石碑やモニュメントのことです。2026年2月末時点で2,416基を、地理院地図やハザードマップポータルサイトで公開しており、石碑やモニュメントの写真や災害名等を確認することができます。

自然災害伝承碑の取組を通じて、過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指しています。



阪神・淡路大震災関連の碑

防災・地理教育の幅広い支援

2022年度から高等学校で「地理総合」が必履修教科・科目とされ、小学校から高等学校まで一貫して地理を学習する環境が整いました。生徒・教員の双方が利用できるウェブコンテンツ「**地理教育の道具箱**」を公開し、授業に役立つ各種コンテンツの整備・提供を進めることで、防災・地理教育を支援しています。

その他、社会科の先生への講演や教科書・教材出版社への説明会の開催等、防災・地理教育の支援を目的とした様々な取組を行っています。



社会科の先生への講演



教科書・教材出版社への説明会における日本水準原点の見学風景



地理教育の道具箱
「一目瞭然! イラストで学ぶ過去の災害と地形」